VESON NAUTICAL

海運サプライチェーンの実態

海運モダリティへの可視化と深い洞察

イントロダクション

海運モダリティ（様式）は異なり、そのルーツは古代にあります。その範囲は広大かつ輸送能力は巨大で、そのプロセスは非常に複雑です。残念ながら世界中の多くの用船者にとって**世界のサプライチェーンに占める海運の割合は曖昧で管理が難しいのですが、実はそうではありません。**

貴社の世界的なサプライチェーンにおいて海運モダリティを最も可視化や効率化、そしてデータに基づく関係性に変えたい場合、貴社はまさに正しいポジションにいます。当eBookにおいて実際の専門の海運ソリューションがどうようなものか、ソリューションが貴社ビジネスにもたらす価値、そしてVeson IMOS Platform (VIP)がどのように貴社の目標達成をサポートするか、このような海上輸送の意味合いをみていきます。

では海運モダリティを明らかにしていきます。

What We'll Cover:

03 準備

04 異なる海運トレード

09 テクノロジーに対応した海運サプライチェーン

14 貴社の海運モダリティに対する専門ソリューションの価値

16 Veson IMOS Platform (VIP)

PART 1

準備

5000年以上前の起源より世界中の貨物輸送にとって海上輸送は必須となっており、**今日の90%以上の世界の貨物は海上輸送となっています。**[2]

海運モダリティに関していえば、20世紀における現代的な通信手段が台頭するまでは古代の貨物生産者と荷送人は互いの信頼と物理ドキュメントの仕組みにのみ頼っていました。貨物は船に積み込まれ、見えない所で目的地到着まで広大な距離を輸送されます。物理的な航海日誌は本船動静に関して情報提供をしますが、貨物輸送に関してステークホルダーは貨物に関する可視性の維持、管理するための方法は事実上存在しません。

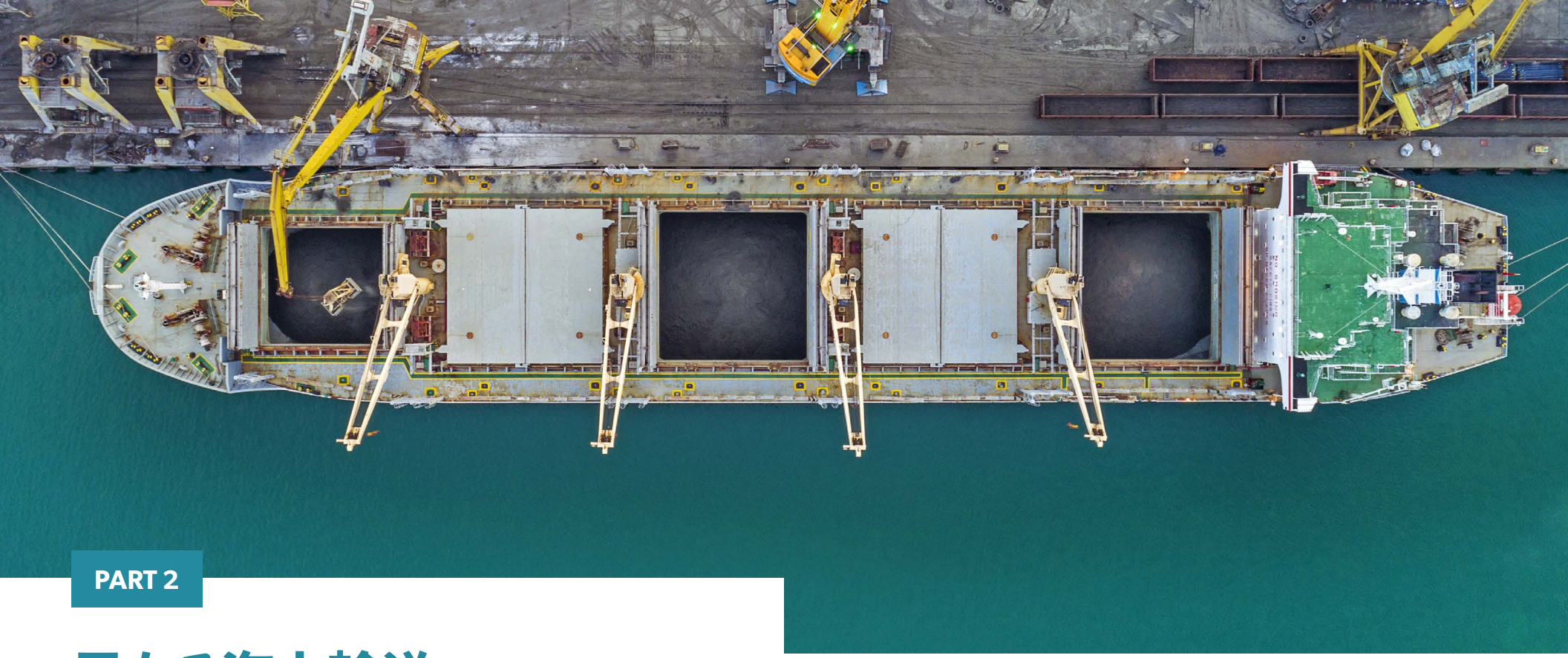
コミュニケーションやワークフローのデジタルトランスフォーメーションに対する現代のアプローチは、サプライチェーンの可視化の点でずっと劇的な増加を続けています。

今日、業務改善や意思決定のサポートをする近代的なツールを利用できるため、船主やオペレーターは海運のデジタル化の主な受益者です。

世界規模の貨物生産者にとってサプライチェーンの可視性は全く足りていません。2017年の世界の優良生産企業に関する調査では、**77%がサプライチェーンに対して全く可視性がない、または何らかの制限があることを示しています。**僅か6%が完全な可視性があると回答しています。複雑さと共同一貫輸送の増加が、可視化と管理を阻害しています。同調査では、**74%がサプライチェーンの中で個々の独自の可視性をもって4つ以上の輸送手段を用いた事を示しています。**[3]

その重要性にも関わらず、海運モダリティはいまだ世界規模のサプライチェーンと不透明な関係性を維持しています。物流やサプライチェーンの専門家はこの点を理解しています。最近の海運専門家に関する調査では、**82%がサプライチェーンの可視性向上という海運業界の要望があることを理解する一方で、12%が海上輸送における可視性が事実上無いと感じている事を明らかにしています。**[4]これはコスト管理、プロセスの効率化や顧客満足に関して透明性の欠如から問題となっています。

海運モダリティに対して新たな管理や効率性、そして効果をもたらすためには、世界規模のコモディティ生産者における主なステークホルダーは、海上輸送に係る貨物に対して一貫した可視性を提供するソリューションが必要となります。残念ながら、海運モダリティ固有の複雑性から標準的の共同一貫輸送ソリューションでは達成できません。それはなぜか更に見ていきます。



PART 2

異なる海上輸送

商業サプライチェーンにおける多様な輸送手段を調査すると、海運モダリティの特殊性や、特殊要件に対して既製の共同一貫輸送ソリューションでは簡単に対応できないことが分かります。では更に見てみましょう。

貨物が空路で輸送される場合、その輸送時間は短く、航空機は他の輸送手段と比較しても非常に小さな輸送能力です。道路や鉄道で貨物が陸路輸送された場合は、輸送能力は限られ、輸送距離が分断されますが、ネットワーク網によってはるかに優れた接続性を持ちます。一般的に空路や陸路輸送は、貨物輸送の全工程を通じて高次の可視性と管理という便益を生産者に対してもたらします。

輸送能力、輸送時間、輸送距離が大きくなるにつれて、貨物輸送は可視性の維持と管理がますます複雑化します。海上輸送はこの3つの点においてほかの輸送手段をはるかに上回っていますが、それでもなお接続性の平均レベルの観点では陸路や空路輸送に劣っています。

海運モダリティを区別する意味合いを更に見てみます。

	陸上輸送	航空輸送	海上輸送
輸送能力	最大40トン	最大250トン	400,000 DWT
輸送時間	数日から1週間	数時間から数日	数週間から数ヶ月
輸送距離	100-1,000マイル	1,217マイル	5,000マイル以下
連結性	高	高	中

広大な距離とボリューム

地球表面の17%は海であり、海上輸送は当然の事として無比の規模です。航路は世界中で劇的に変化し、輸送貨物の海上輸送に係る時間は発着地によって10日から50日です。[5] 商業船舶により広大な距離は、膨大なボリュームと一体化します。例えばチャイナマックス船型の船舶は400,000DWTまで対応しています。[6] 比較すると世界最大の民間貨物機アントノフ225ムリーヤは250トンの輸送量に留まります。[7] トレーラートラックの法定重量は40トンです。[8] 比較するとチャイナマックス1隻は、10,000台のトレーラートラック分の最大積載量を有します。**コモディティ生産者にとって、多数の航海が当たり前である多品輸送の維持や管理の観点から巨大なサイズの船舶は可視性を困難なものにし、新たな複雑性をもたらします。**

極めて複雑な契約

短期から長期、マーケット連動型、フレイト先物、スポット航海まで海運契約は複雑であり、世界規模のサプライチェーンの他の輸送手段とは異なります。これらの契約は数百の異なるサーチャージを含めることや、極端に厳格な条件に従ったり、複雑な企業組織の中の独立した複数の子会社を関与する事があります。[9] 更に単一の航海は海上輸送において、複数の国々の海域へ入るため、多様な税金、関連法規や規制の対象となるのが一般的です。**これらの意味合い全てが契約において明記され、そして契約の適切な契約条件の履行を遂行、用船者コスト管理のために航海期間中に管理される必要があります。**

複数の相互関係にあるステークホルダー

今日、約120万人の海上勤務者がいます。生産者、顧客、運送業者それぞれでしかない陸上輸送と異なり、特殊でありながら広大な海運エコシステムは複数の相互関係に機能するステークホルダーを含みます。**商業船舶の船主からオペレーター、貨物輸送を求める用船者、海上の船長や乗組員、港湾荷役を管理する職員やオペレーター、環境及び商業活動の規制を監視する規制当局、取引関係者間の可視化を促進するブローカー、そして海上輸送の最終顧客まで、全ての海運ステークホルダーは強化されたコミュニケーション、協調や調整による便益を享受する立場にいます。**

高度な専門的プロセス

プロセスの観点から、海運モダリティは他の輸送手段以上に全く異なるオペレーションとなります。Noon Reportのようないくつかの特殊プロセスは、世界的な商業取引の黎明期まで遡り、古代の方法に根付いています。環境レポートのようなその他のプロセスは海運ワークプロセスを複雑化させる新しく追加されたものです。加えて、多様で特殊な海上輸送は更に専用のプロセス及びツールが必要となります。例えば、LNG輸送には専用船や慎重な輸送計画へのコミットメントが、複雑で潜在的な危険性のある多品輸送のケミカル船には十分な知識を有した専門家と過去の輸送貨物を追跡する方法が必要となります。専門的なプロセスに関するコストは、用船者に対するサプライチェーンコストの相当分を構成する海上運賃に含まれます。**しかし、研究による高品質データへのアクセスが相当なコストセーブが可能であることを示しています。事実、LNG航海の単一方向の輸送に対してある見積りでは、本船動静データに基づく海上での意思決定の後押しにより、15万ドル以上ものコストセーブが可能であると示されてています。**

今日、約
120万人
が海上勤務者です。[10]

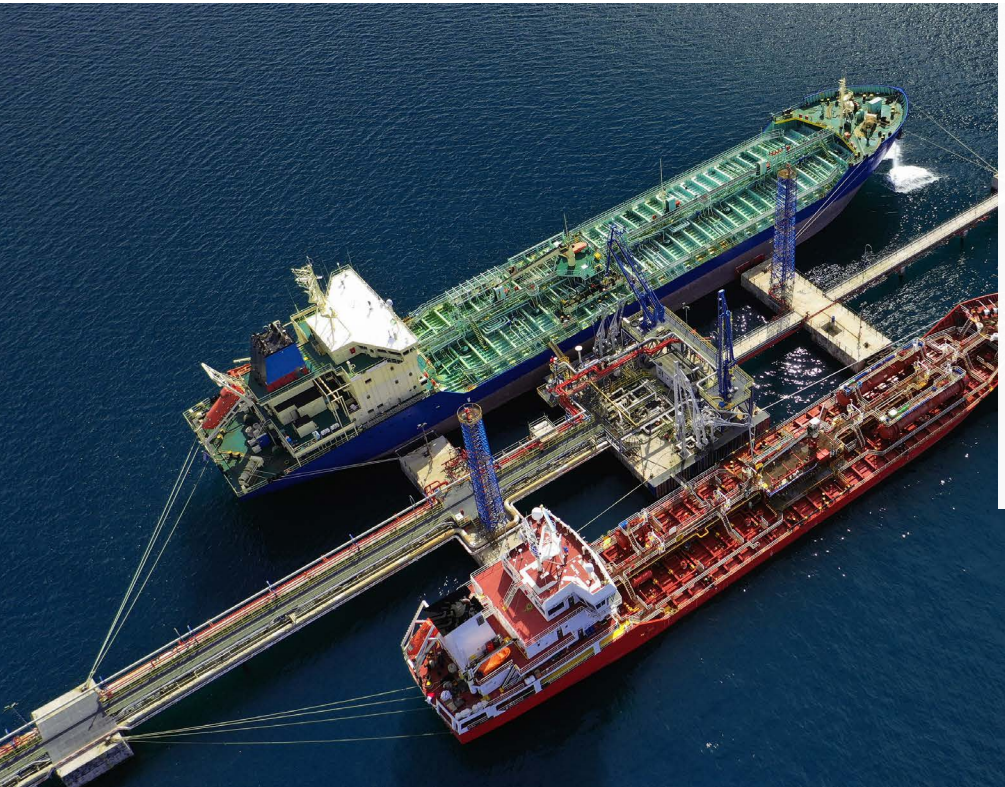
海上輸送時間は
10日から50日
になります。[5]

複雑な規制の実勢

本質的に特定の国や大陸に限定されている陸上輸送や鉄道輸送とは異なり、海上輸送は常に変化する世界的な政治情勢や貨物に対する影響の観点から常に社会動向に注意が求められる厳格な制裁リストに従う必要があります。加えて、世界的な環境方針が船舶のオペレーションや維持にも影響します。例えばIMO2020は、オペレーターに対し継続的な本船の燃料消費、硫黄排出量、そして本船装備品のパフォーマンスの監視と管理を求めています。ある海運会社は、年間20億ドル以上の燃料費の発生を見積り、またある会社ではフリート全体をスクラバー装着のためにドライドックに入れました。**これら規制の実勢は、全体のサプライチェーンコスト同様にノミネーションをする間、用船者にとって利用可能な海上輸送に影響を与えます。**

変動性及び市況の変化

バルクコモディティ、海上運賃、燃料は本質的に全て市場の動向に敏感です。例えば重油を考えてみましょう。30日間の海上輸送中に石油業界が壊滅的な災害にあった場合、その潜在的な損失は特別です。同様なことが市場動向と連動している石油価格にも言えます。例えば、IMO2020により注目された低硫黄燃料のVLSFOは、世界中のCOVID-19パンデミックの影響により25-50%下落しました。同様に海上運賃の価値も実質的に市況の影響を受けました。これは最近の燃料価格の下落で実証され、様々な企業や国が貨物輸送の手当てを求めた事により輸送サービスに対する需要が急増しました。**用船者にとって、海上運賃および燃料の価値変動はサプライチェーンコストに対して重大な影響を与えます。これらのコストの管理や最小化には、リスク及びエクスポージャー管理という計画的なアプローチが求められます。**



これらの独自の特性は共同一貫輸送のサプライチェーンシステムからは出てきません。多様的で複雑、そして海運モダリティの市場実勢に沿うようなソリューション無しに、全幅の信頼のもとにサプライチェーンにおける海上輸送を管理することは用船者にとって事実上不可能に近いでしょう。

Q & A

Veson Nautical コンサルタント
ミカエラ・ギャリティ

他の輸送モードと比較した場合に、海運モダリティはどういう点が最も異なりますか？

海運は特殊で複雑な業界です。平均的な商業航海の輸送距離は複雑さの実行リストに加わりますが、貨物をAからB地点へ海上輸送する行為が複雑にしている訳ではありません。プロセスの観点から見ると、海上輸送はオペレーションが他の輸送モードと異なります。そのプロセスは、複雑な契約、市場連動の価格、制裁リストの変更、常に変化する規制の実勢など、複数の要素から成ります。**これら規制の実勢は、全体のサプライチェーンコスト同様にノミネーションをする間、用船者にとって利用可能な海上輸送に影響を与えます。**

あらゆる産業向けのソリューションを用船者が利用した場合、何を見失いますか？

残念ながら一般的な共同一貫輸送のサプライチェーン管理ソリューションで海上輸送を管理しようとする用船者は、貨物の海上輸送期間がブラックボックス化する事に気づきます。航空輸送や陸上輸送の場合には貨物輸送に対する可視性がある一方で、そのソリューションが単純に輸送の最適化が必要となる海上輸送が発生するとその複雑さに対応できません。**海上輸送中の貨物に対する可視性の維持や管理ができないことは、重要な詳細が抜け落ちて効果的でタイムリーな判断をする事の妨げとなります。**

海運サプライチェーンに対する可視性の欠如が最終利益に影響がありますか？

はい、直接的に影響します。特にバルクコモディティにおいて海運サプライチェーンは世界的なサプライチェーンコストの相当分を占めています。再三、私たちはクライアントがノミネーション、バーススケジューリング、クレイム交渉などの観点から最も費用対効果の高い判断をするために海運サプライチェーン向けのソリューションから導かれたインテリジェンスに傾倒するのを見てきました。**加えて専門ソリューションは、時間を要しエラーを生むマニュアルデータ入力を排除し、システムやステークホルダーを跨ってデータの継続性を維持します。これは回避可能なコストです。**

テクノロジーパートナーの役割とは何でしょうか？

テクノロジーパートナーは技術同様に重要です。海運エコシステムの内外を知り、契約の両当事者と強力な関係を持つパートナーを選ぶことによって、用船者は海運サプライチェーンの実践に係る改善機会を表面化させることが可能です。**反応が早いパートナーは、難しい質問に対する回答を手助けることができ、問題に対処し、また海上輸送に係る用船者内部の専門知識を大幅に拡張する事が出来ます。**用船者の海上輸送者がそのパートナーのクライアントであれば、それは更に良いことです。これは当事者間の連結性を高める新しい機会を提供します。

PART 3

実践における専門海運サプライチェーンソリューション

私たちは貴社の海運モダリティに必要となる専門ソリューションを開発しましたが、そのソリューションはどういうもので、どのように海運サプライチェーンを変革しますか？

以下にどのように海運サプライチェーンソリューションが貴社のプロセスを高次化し、貴社のステークホルダーに力を与え、貴社のシステムと繋がるかを説明します。3要素の各項目は、世界的なサプライチェーンにおいて可視化され、効率的でデータに基づく連結性へと変革するために貴社ビジネスの能力の中核です。

貴社プロセスの高次化

正しいデジタルソリューションは海運サプライチェーンのあらゆる面に対して新しい効率性や効果をもたらします。プロセスの各ステージにおける役割についてみてみましょう。

ノミネーション及びプランニング

航海ノミネーションの間、海運ロジスティックスの専門家は、海上輸送に対する特定のビジネス要望、到着時間に対する顧客の期待、内部の有用性、輸送契約と契約レート、本船パフォーマンスデータなど、複数の変数のバランスをとる必要があります。それゆえ平均的なノミネーションは、複数のステークホルダー間で数百ものEmailが含まれる事は当然のことです。

重要なデータが一つの集中されたワークスペースで提供され、より効率的で評価されたコミュニケーションを可能とする事により、**デジタルソリューションは海運ロジスティックス専門家にプランニングプロセスの効率性の最適化、迅速な複数の航海シナリオの比較、潜在的な判断に係る後続プロセスへの影響、そしてサプライチェーンコストの最小化とビジネス上のタイムラインに沿った最適な航海のノミネーション を可能とします。**

航海全体を通して

専門のデジタルソリューション無しには船舶がドックを離れる際に、貨物やコストに対する　可視化や管理は出来ません。それでも、サプライチェーンコストの大部分は、貨物が海上に居る際に発生します。同様に、ETAは天候や本船パフォーマンスなどの変数の多数によって変動します。適切な可視性が無ければ、ETAの変更は、費用の発生となるデマレッジに繋がる港での船混みや製品の不足などバースでの予期せぬ結果をもたらします。加えて、海上での貨物に対する可視性や管理が無ければ、用船者は内部の担当部署であれ、外部のクライアントであれ貨物の最終到着地での正確な期待値の調整が出来ません。

専門のデジタルソリューションはブラックボックス化する海運モダリティを透明性のある連続性に変革し、貨物がどこにあっても可視性を与え、タイムリーで正確なデータと共にその他のビジネスエリアに対して情報を更新します。本船レポートの標準化から正確な動静、ETAの更新、天候情報の更新まで、専門ソリューションは用船者に最新情報を与え、ビジネスのスピードに合わせて知的判断を可能とします。

港又はバースにて

港及びバーススケジュールは、正確なタイムテーブル、最適化された貨物の連続性、個々のそして日々の活動の後続プロセスへの影響に対する確かな理解が必要となります。バースでの出来事が本質的にレイタイム、コスト、将来の出来事への影響します。それゆえ、港及びバースアクティビティを効率的に管理し、海運サプライチェーン機能を超えてチームメンバーと連絡を取ることが重要です。

計画されたアクティビティに対する可視性を持つことによって、海運ワークフロー全体を通じて正確なデータの組み込み、最適化されたスケジュールの迅速な構成を可能とするダイナミックなツールの提供によって、**専門デジタルソリューションはドックスケジュール担当者や海運スケジューラーに対して完全にスケジューリングの効率性改善と不要なデマレッジ費用の削減を可能とします。**

航海完了

海運サプライチェーンは、主要なコモディティ生産者にとって世界のサプライチェーンコストのかなりの部分を占めています。貨物の海上輸送に関する多くのコストを適切に記録し、割り当てるには、ノミネーションから到着、航海後の会計処理まで、完全なデータの継続性が必要です。さらに、コスト削減の機会を見つけるためには、海運モダリティの財務的な観点からパフォーマンスを一元的に分析する機能が必要となります。

既存の財務会計システムとのシームレスな統合によって専門ソリューションは、マニュアルによるデータ入力要件を排除し、包括的でタイムリーで正確なデータへアクセスをするファイナンシャル機能の提供により関連ワークフローを加速します。さらに、標準レポートや分析、履歴データリポジトリ、およびビジネスインテリジェンスツールとの統合を通じて、適切な海運サプライチェーンソリューションによって貴社ビジネスは海運モダリティについてより費用効果の高いデータに基づく決定を下すことができます。

貴社のステークホルダーに対する権限

貴社の海運サプライチェーンの高次化により、正しいデジタルソリューションは用船者の多くの海運関連のステークホルダーを楽にします。その内容を見てみましょう

生産計画

貨物の内部的または外部への輸送に係るビジネス上の要望の特定

継続的な特定製品ラインまたはコモディティに対する需要と供給の評価や、特定結果を生み出すニーズの特定を課すことで、生産計画者はコモディティ生産に係るビジネスニーズと海運サプライチェーンを関係付けます。

特定ソリューションは、生産計画者がプラットフォーム内のメッセージや標準化されたフォームを通じて、海運ロジスティック機能に対してビジネス要望を効率的に連絡し、貨物輸送全体を通じてビジネス要望に即している事を確認するための可視性の維持を可能とします。

海運ロジスティックス

海運モダリティに係るビジネスニーズの合致およびフレイト契約の管理

海運ロジスティックスの専門家の主要な機能は生産計画機能による特定の要望と合わせて貨物を輸送するための適切な船舶をノミネートし、その後フレイト契約の実行に係る交渉と管理です。

専門ソリューションは、ノミネーションプロセスの通知と海運ロジスティックスの専門家が最小のコストでビジネス要望に沿う最良のノミネーションを素早く評価・選択することを可能とそる価値のある情報を提供します。ノミネーションが完了した後、そのソリューションは航海プロセスに対する包括的な洞察を与えるため、貨物が最終目的地に到達するため用船者は思惑とコストの管理が可能となります。

フレイトトレーディングとリスク管理

フレイトエクスポージャーの測定と軽減

フレイトエクスポージャーの管理は海上輸送サプライチェーンコストを管理することが鍵です。フレイトトレーディングおよびリスク管理機能は用船者のフレイト契約に係るフレイト市場価格の変動に対する評価、リスクヘッジのためのペーパー取引売買に特化しています。

専門ソリューションによりフレイトトレーダーは体系的に時価評価の実施、既存契約と関連インデックスを考慮したフレイトエクスポージャーに対する正しい視点の獲得、そしてペーパー取引によるリスクヘッジのための潜在的な行動による影響を見ることを可能とします。

貨物に係るファイナンス及び会計

貨物に係る未収・未払管理

貨物に係るファイナンス及び会計は注意深く、海運モダリティに係るものを含め貨物に係る全ての未収・未払管理に特化しています。当機能では、補助的な請求やクレームの管理、正しい内部コスト配分の確保、そして効率的な決算処理の対応が責任範囲です。

内部の財務会計システムとのシームレスな連携と請求に係る交渉をサポートする包括的なドキュメントの提供によって、専門ソリューションは迅速に貨物に係る会計処理の効率性を劇的に改善し、またコスト削減を可能とします。

ドックスケジューリング及びオペレーション

港またはバースアクティビティの最適化

バース、桟橋またはドックでのアクティビティ管理に特化し、スケジューリング及びオペレーション機能の成功は、現在および計画されたアクティビティの可視化とスケジュールの正しい最適化に拠ります。

一つの集中されたワークスペースを通じて専門ソリューションは、スケジューラー及びオペレーターに対して計画されたアクティビティに基づいたスケジュールの最適化、現在のアクティビティに基づく適合、そして回避可能な滞留、休止時間そしてデマレージコストの低減を可能とします。

ロジスティックス及びサプライチェーン管理

サプライチェーンの効率化と効果の改善

海上輸送を含むコモディティ生産者のサプライチェーンの管理を課すことにより、ロジスティックス管理者は機敏さの向上とコスト削減の新しい方法を模索しています。そのような機会を見つける事は体系的に拡張的な方法によってパフォーマンスを評価できることが求められます。

海上輸送サプライチェーンのKPIに関するレポーティングやBIツールとの連携により、専門ソリューションは透明性のあるロジスティックスを提供し、そしてサプライチェーンのリーダーは貨物輸送者とのフレイト契約や内部のサプライチェーンの実施などについてデータに基づく判断をする必要があります。

貴社システムとの連携

海上輸送サプライチェーンの専門ソリューションは、海運モダリティの真の可能性を明らかにする上で不可欠ですが、サイロの状態ではオペレーションできません。それゆえ、容易なインテグレーションを実装し、あくまで一例ですが下記のような内部システムやデータソースなど無数の深い双方向の連携が可能な海運ロジスティックスソリューションが必須です。

- **ERP及び会計システム**
- **CTRM / ETRM**
- **エージェント及び港湾サービス**
- **マーケットデータソース**

システム連携実績の一例

weathernews
Aspect CLOUD: Transform for Advantage
OPENLINK
The Baltic Exchange
Amphora
Allegro Commodity Management
World Fuel Services
StormGeo
SAP
ORACLE
Microsoft Dynamics NAV
gac
Marex Spectron
S5 AGENCY WORLD
Inchcape Shipping Services
DA-Desk – Raising Standards Together –
DIABOS
IHS
AGRESSO

PART 4

貴社の海運モダリティに対する専門ソリューションの価値

海運モダリティ専門のソリューションを取り入れることにより、用船者は汎用的なアプローチでは実現しない複数の包括的な便益を明らかにします。それらの便益とは次の通りです。

デマレッジコストのクレーム減少

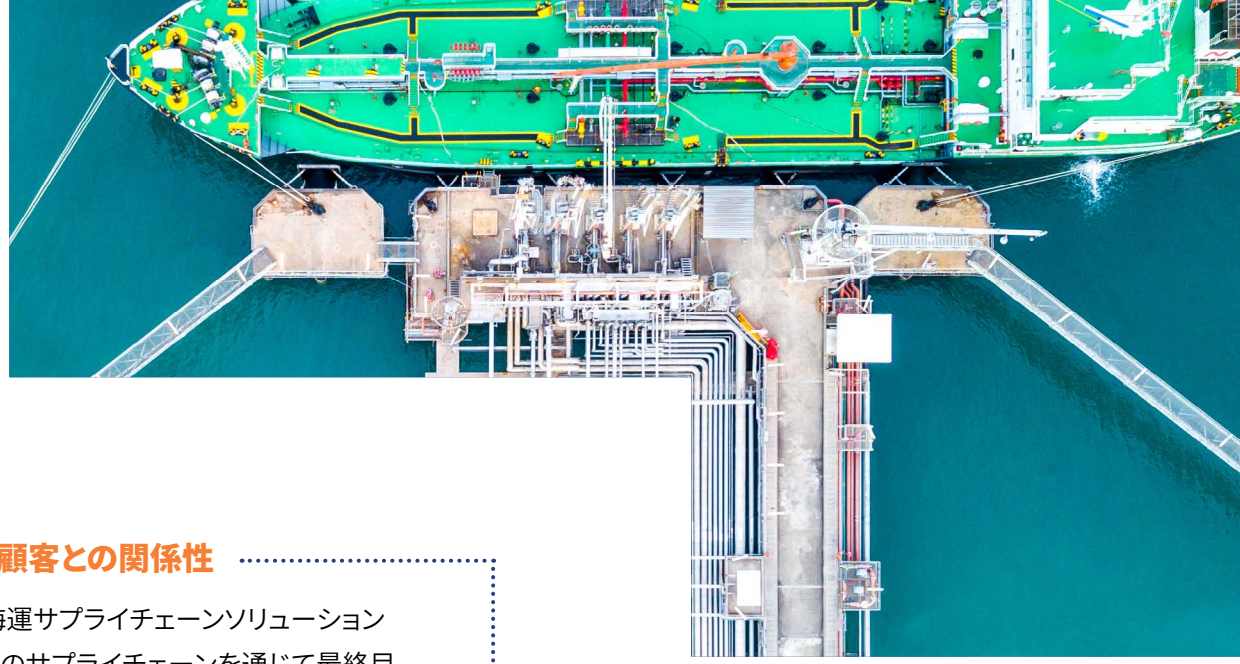
デマレッジは貴社の海上輸送サプライチェーンに関する最も予期しない重大なコストです。例タイムの正しい予測やバースや桟橋でのワークフローを最適化するためのダイナミックなツールの提供により、専門のデジタルソリューションは貴社をよりデマレッジ費用の効果的な予測と低減を可能とします。

より情報に基づいたノミネーション

最も変革を生むデジタル技術ですらノミネーションの決定はできませんが、タイムリーにマーケットデータ、重大な意思決定のサポート、海運ロジスティクスの専門家がより情報に基づく必要がある相対的なシナリオプランニング、情報に基づくノミネーションを提供することが可能です。これは海運サプライチェーンに対し効率的にビジネスニーズに沿う事を可能にします。

より効率的なプロセス

強力な海運サプライチェーンソリューションが現代的なダッシュボード、最適化されたコミュニケーションチャネル、シームレスなインテグレーション、時短となるオートメーションと連動する新しい方法によりワークフローの効率性を変革します。



海運サプライチェーンコストの低減

デマレッジコストの低減に加えてサプライチェーンにおける海上輸送の注意深い監視と管理はその他コストの管理にも機能します。用船者は航海全体、市場に対するベンチマークとなる契約やフレイト価格を通じてコスト管理に役立つ海運特化型ソリューションを利用し、時間経過による本船パフォーマンスを評価するため、コスト低減が生まれます。

強固な顧客との関係性

専門の海運サプライチェーンソリューションは、貴社のサプライチェーンを通じて最終目的地まで貨物が輸送されるため、貨物の正確な位置、ポジション、そしてスケジュールについて予定することを可能とします。

高次化された意思決定

改善されたデータや洞察を伴いデータに基づく意思決定となります。海運モダリティ向けの専門ソリューションは、海上輸送される貨物に関する重要なデータの把握だけでなく、重要なシステムやステークホルダーへ情報を提供し、そして継続的な貴社組織に対して成功の測定、改善機会の特定、意味を持つ変化の実践を可能にします。

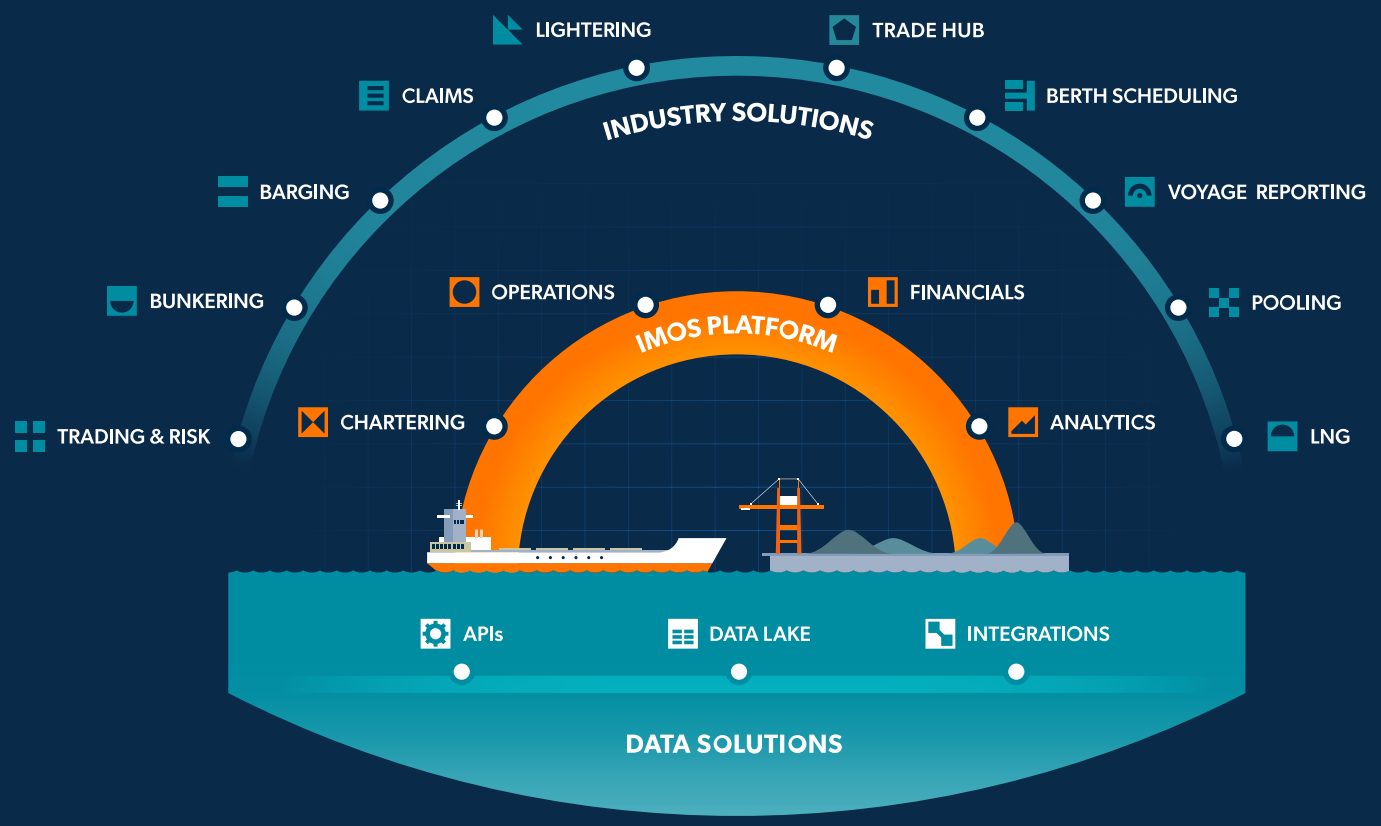
海運サプライチェーンの実態: 海運モダリティへの可視化と深い洞察

PART 5

The Veson IMOS Platform

海運ロジスティクスの標準
デジタルプラットフォーム

海上輸送貨物やフリートの商業的管理で業界をリーディングするプラットフォームとして、VIPはロジスティクス専門家に対して海運モダリティに関する情報に基づく意思決定を必要とするデータやツールをかつてないほどに素早く提供します。
VIPは迅速に世界最大の海運サプライチェーンにて証明されたビジネスロジックを世界的な可用性やより進んだデータの共有、今日増加する海運エコシステム関連から要望されるシームレスなインテグレーションをサポートするクラウド型アーキテクチャに組み合わせています。



VIPは海上輸送サプライチェーンの管理を変革する用船者にとって理想的なプラットフォームとする**以下のような**複数の利点があります。

海運サプライチェーンに完全特化

深い海運エコシステムの知識を有したチームにより開発され、世界最大規模のバルクコモディティ生産者、トレーダー、船主やオペレーターを含むダイナミックな顧客のコミュニティのニーズにより設計された**VIPのあらゆるダイナミックな可能性は、海運ステークホルダーのニーズや要望に沿う事です。**その結果、共同一貫輸送ロジスティックソリューションが対応出来ない方法で海上輸送サプライチェーンを通じた価値を推進する事が出来ます。

複雑さの管理に特化した包括的能力

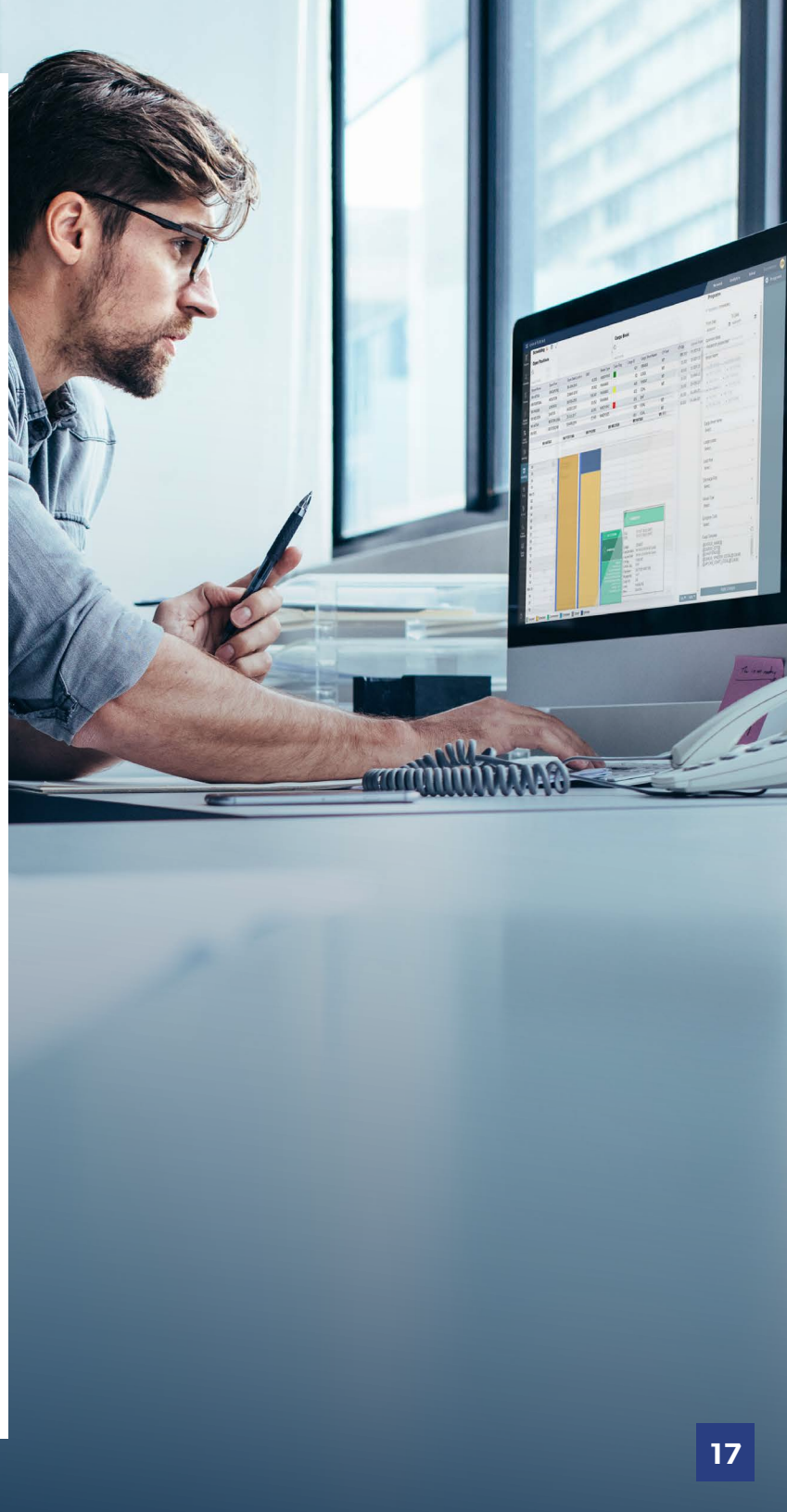
海運特化の一部分は容易に複雑なプロセスを管理している点です。VIPは海運サプライチェーン全体に及び、かつノミネーション、港及びバーススケジューリング、デマレッジ及び各種クレーム管理、会計処理、ビジネス分析などを含む**主要プロセスの効率性と効果を変革する堅牢な機能とツールを提供します。**

契約当事者の深い専門知識

VIPは海運フレイト契約両当事者のクライアントによる特殊な要求に対応しています。その結果、VIPは価値を生む機能を提供し、システム及びステークホルダーを跨ってデータの標準化を促進し、海運サプライチェーン全体を高次化させるために契約当事者間の連結性を改善するような特別なポジションにいます。

データ共有及び統合をサポートするフレキシブルなクラウド型アーキテクチャ

クラウド型のVIPは、インターネット接続と標準Webブラウザの利用でいつでも、どこからでもアクセスが可能となります。VIPは今日の世界的なコモディティ生産者から要求されるデータシェアリングもサポートしています。



世界的トレードの大部分を占める大規模ユーザーコミュニティ

世界的な海運ロジスティックス向けの世界的なリーディングプラットフォームとして、**VIPは世界60カ国300社18,000名以上の成長するユーザーコミュニティに対してサービス展開をしています。**我々のクライアントは、毎年300億ドル以上の海上輸送を行っており世界経済にとって重要です。

ソリューション提供において証明された専門知識と変革管理

投資対効果を最大化させるためクライアントに対して専心しており、デジタルジャーニーの全体に対する包括的なサービスを提供しています。システム導入及び変革管理をするために**Vesonのグローバルサービスの絶対に確かなアプローチは、顧客に対して初日からVIPへの投資価値を最大化させることができます。**我々のパートナーシップは、世界的なユーザーコミュニティに対する機敏なサポート、自力解決のためのリソース、継続した教育機会を提供している為、システム稼働後にも及びます。

継続的なイノベーションへの専心

我々は立ち止まる事は後れを取る事だと強く信じています。**その為、年間500もの新機能を貴社ビジネスと共に進化する柔軟なクラウド型インフラストラクチャーに対してリリースしています。**検証済み機能は我々クライアントの実際のニーズによってデザインされ、ユーザーがすぐに業務で使えるように標準コードベースの一部と自動的になります。

VESON IMOS PLATFORM

貴社サプライチェーンにおける海運モダリティの管理は準備できていますか？

VESONへ連絡

1. Namepa – https://namepa.net/wp-content/uploads/2018/08/Lesson-3-The-History-of-the-Maritime-Industry.pdf
2. CNBC – https://www.cnbc.com/2019/10/30/imo-2020-the-winners-and-losers-of-a-global-shipping-revolution.html
3. GEODIS – https://geodis.com/sites/default/files/2019-03/170509_GEODIS_WHITE-PAPER.PDF
4. SuppyChain Management Review – https://www.scmr.com/article/new_reports_says_global_ocean_cargo_industry_at_the_tipping_point_of_digiti
5. Small Business UK – https://smallbusiness.co.uk/the-essential-guide-to-sea-freight-process-costs-and-timelines-2544049/
6. Maritime Connector – http://maritime-connector.com/wiki/ship-sizes/
7. Aerospace – https://www.aerospace-technology.com/features/featurethe-top-10-biggest-cargo-aircraft-4589609/
8. Truckers Report – https://www.thetruckersreport.com/facts-about-trucks/
9. ETC International – https://www.etcinternational.com/blog/what-to-know-about-international-ocean-shipping-contracts/
10. Job Monkey – https://www.jobmonkey.com/maritimejobs/maritime_industry/
11. LNG Industry – https://www.lngindustry.com/liquid-natural-gas/11022020/optimising-lng-voyages/
12. Bloomberg – https://www.bloomberg.com/news/articles/2018-09-17/maersk-says-customers-to-pay-for-2-billion-a-year-fuel-hike?srnd=markets-vp
13. JOC – https://www.joc.com/maritime-news/covid-19-adding-fuel-vlsfo-freefall_20200306.html

VESON NAUTICAL

Boston +1.617.723.2727
Singapore +65.6225.4881
London +44.20.3397.0102
Tokyo +81(0)3. 4360. 8217
Houston +1.617.723.2727

www.veson.com

| Copyright © 2020 Veson Nautical. All rights reserved.